

ガーデンシティみしまの推進（花のまちフェア、清住緑地拡張整備事業）

アナ： 『市長が語る 2019 三島』 第 8 回の今日は、ガーデンシティみしま推進事業の中から「花のまちフェア」と「清住緑地拡張整備事業」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： まず、今週末に開催される「花のまちフェア」について教えていただけますか。

市長： はい。5月25日・26日の土曜日・日曜日に開催される「花のまちフェア」は、今年で7回目を迎えます。楽寿園を中心に、みしまの街中がたくさんの花で飾られ、美しく彩られたみしまの街を満喫していただくイベントになっており、毎年、市内外から多くの方が来場され、楽しんで頂いております。

アナ： その事業の内容を詳しく教えていただけますか。

市長： 楽寿園を中心に TMO ホールや大社の杜みしま、白滝公園など各所で、花のオブジェの展示や、花にちなんだイベントが開催されます。

また、桜川沿いには、市内園児が大切に育てたフラワーポットが並び、桜川沿いをやさしく彩り、癒しの空間となっています。

アナ： 豊岡市長のおすすめは何ですか。

市長： そうですね。「花と笑顔」のフォトコンテストがおすすめです。これは、フェアの会場とその周辺で撮影した「花と笑顔」の写真をInstagramやメールで応募していただきます。入賞商品には三島を満喫できる豪華景品、例えば、箱根西麓牛サーロインステーキ、スカイウオーク ペアチケット、三島のうなぎかば焼きなどがあり、さらに、入賞した作品は広報みしまにも掲載予定です。

ぜひ、皆さんの楽しい笑顔の写真をお待ちしております。

アナ： 次に「清住緑地拡張整備事業」についてお伺いします。

市長： 平成27年10月に「三島市、清水町“水の郷”構想検討会」を設立し、誰もが「住みたい、訪れたい」と感じてもらえる まちづくりの一環として、JR三島駅から柿田川公園の間に点在する水と緑のオープンスペースを結ぶ回遊ルートの整備に取り組んでおります。清住緑地拡張整備事業は、清住緑地をルート上の中継拠点に位置付けて、地域との一体化を図り整備を行う事業になります。清住緑地は、市街地にありながら豊富な湧水や多様な動植物が生息する豊かな自然環境を残しており、環境教育の場としても活用されています。また、この清住緑地の南側に隣接するエリアは、以前、養魚場として使用されていたのですが、既存の

清住緑地と一体的なビオトープとして整備することにより、さらなる活用と魅力の向上を目指していきます。

アナ： その拡張整備の内容を詳しく教えていただけますか。

市長： 昨年度、地元自治会や周辺住民の皆様を交えたワークショップを6回開催しました。その中で熱心な討論が繰り広げられ、ご意見、ご要望を伺いながら、多くの方々に親しまれる緑地とするべく整備計画の策定及び実施設計を行いました。その方針は、周辺住民の皆様と共存できる緑地の整備に加え、子どもたちが水と自然に親しむことができ、また、災害等の有事の際には、湧水を生活用水として利用できる形を用意します。なお、さきほどお話ししました回遊ルートを活かすためにも、拡張整備するエリアと清水町丸池側とを結ぶ橋を設け、多くの人に訪れていただき富士山からの恵みであります湧水の魅力を感じ取っていただきたいと思えます。

アナ： この整備によって、また一つ新たなガーデンシティの回遊ルートができ、更に多くの市民が三島の街をウォーキングされることでしょうか。

市長： そうですね。

中心市街地の花飾り事業も清住緑地拡張整備事業も、ガーデンシティの推進だけではなくスマートウエルネスとの相乗効果が期待できますので、積極的に取り組み、市民の皆様の健幸づくりにもつなげていきたいと考えております。

アナ： これからも、「美しく品格のあるまち」そして「“健幸”なまち」にふさわしい三島市となるような取り組みを期待しています。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。